

## 【津波からの避難】

南海トラフの最大クラスの地震が発生した場合、弦打地区の最高津波水位は2.5mとなります。津波の遡上高は最高2から4倍です。弦打校区は香東川と本津川の二つの河川に挟まれ、河川遡上の危険性が高くなります。

浸水は、津波と関係なく地震直後から郷東町で始まり、16分後には津波により弦打地区の沖合で±20cmの海面変動が始まります。180分以内に県道33号線から北のあたりが約30cm浸水する想定です。

津波警報が発令されたら、津波浸水想定区域に住まわれている方や、勤務されている方はまず自身の安全を確保した後、避難行動をとりながら、近所の方に声かけ避難します。

また、自分で避難できない災害時要配慮者(高齢者、身障者の方等)に声をかけ、避難を支援することが可能であれば協力します。

避難先は、日頃からハザードマップを確認して、浸水の及ばない鶴市町から南の浸水想定区域外の一時避難場所、指定緊急避難場所や近くの津波避難ビルです。

津波警報が発令された場合、立ち退き避難が原則です。避難に時間的な余裕がない場合や避難が困難な場合には、近くの津波避難ビル、自宅の2階以上や、近くの鉄筋コンクリート造・鉄骨造等の堅固な建物の2階以上に避難します。

これらの場所については、事前に歩いて確認しておきましょう。

## 【避難経路】

津波浸水想定区域から避難する場合、河川堤防上の道路は避難経路として不適切です。また、浜街道と県道33号線の間のアンダーパス（①）、浜街道郷東大橋の西側堤防側道アンダーパス（②）、香東川西堤防線路下のアンダーパス（③）、③の西約120mのアンダーパス（④）は早期に浸水する恐れがあります。



## 【弦打地区近辺の津波避難ビル】



## 【編集後記】

令和5年1月13日に国の地震調査委員会は、南海トラフ地震でマグニチュード8～9クラスの地震が、今後30年以内に発生する確率は70%～80%と公表しました。弦打校区においても地震による津波が発生することが予想されていることから、今回の防災だよりは津波特集としました。いざ津波が発生した際に備え、ご家族や地域の皆様と一緒に情報収集をし、しっかりと準備をしていただきますようお願いいたします。

弦打校区自主防災会連絡会 会長 住谷 篤志

# 弦打校区 第4号 防災だより



発行日：令和5年8月20日  
発行者：弦打校区自主防災会連絡会  
高松市鶴市町356番地3  
TEL 087-882-0285  
共 催：弦打校区コミュニティ協議会(防災部会)  
弦打地区社会福祉協議会  
協 力：香川県防災士会高松西ブロック

## 津波特集

### 弦打地区の危険度は？

以下の弦打地区の津波浸水想定区域図は、南海トラフ最大クラスの地震による津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもので

この津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。また、浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。想定区域以上のことを考えた行動が必要です。

### 南海トラフ最大クラスの地震の場合 弦打最高津波水位は 2.5m

津波は何回も繰り返しやってきて第1波目は比較的小さくても、2波3波で何倍もの津波が来るおそれがあり、8時間以上継続します。12時間は自宅に戻らないようにしましょう。



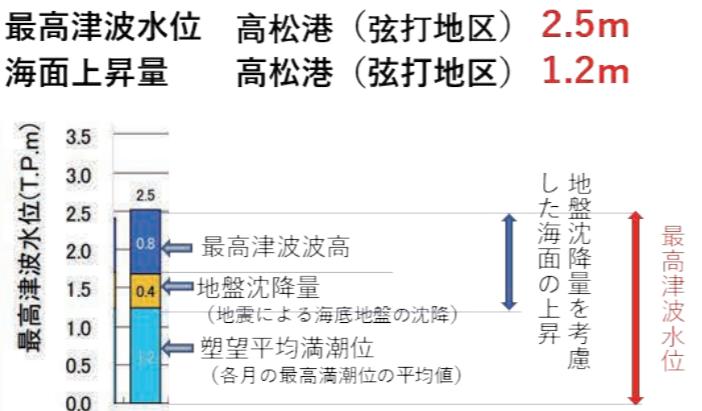
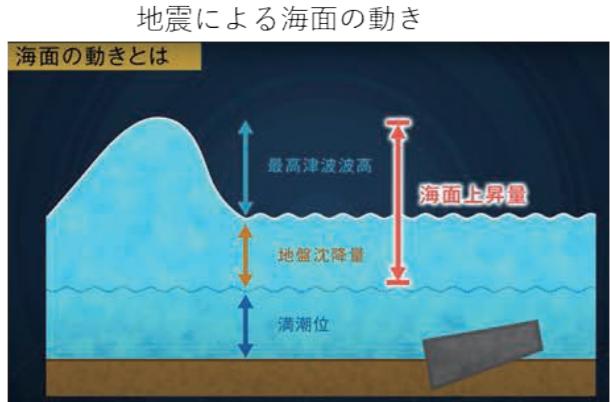
### 海岸堤防決壊による浸水のイメージ



### 地震で壊れたり沈下による海岸堤防決壊



香川県[南海トラフ地震（最大クラス）に関するDVD]より



香川県[南海トラフ地震（最大クラス）に関するDVD] より

### 【最悪のケースを想定した高松の津波被害シミュレーションイメージ】

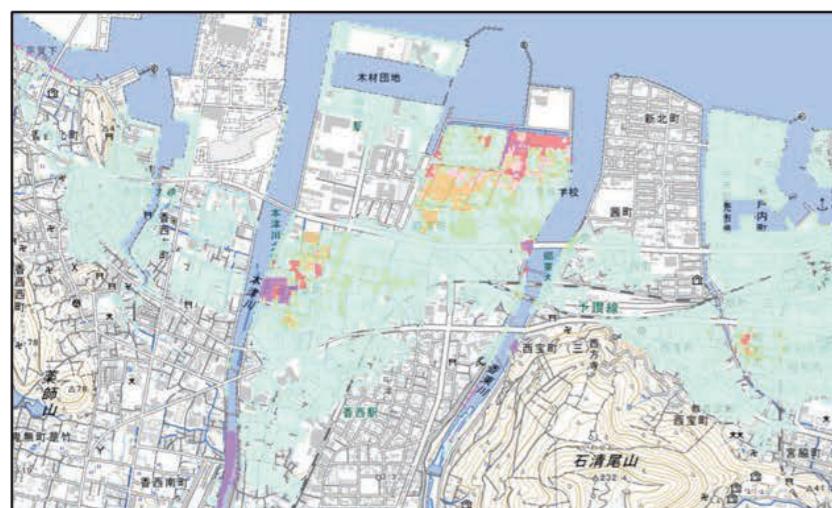
弦打地区の津波浸水想定区域図を見ると、県道33号線の北で浸水深が1~2mの区域が広がっています。

下図のとおり、避難しないと死亡する恐れがあり、木造家屋が全壊する恐れもあります。



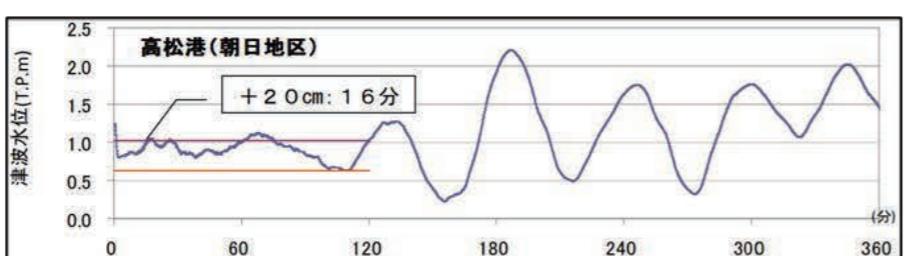
香川県[南海トラフ地震（最大クラス）に関するDVD] より

浸水深30cm到達予測図



### 【海面変動影響開始時間予測図（南海トラフの最大クラスの津波）】

弦打地区の海面変動開始時間の予測（±20cm）は16分です。海岸堤防が地震や地盤沈下などにより壊れ、地震発生後まもなく浸水が始まります。津波浸水想定区域にいる人は、早期の避難が必要です。



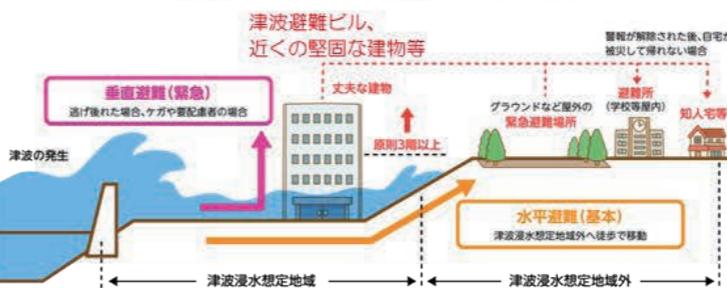
### 【津波による河川遡上】

河川をさかのぼる津波は陸地に比べて速く、遠くまで遡上します。その流量規模は大きく、時間的な変化の度合いも大きいので洪水を想定した堤防では対処できない場合があり、海から離れた場所でも越水したり、また堤体の被害により氾濫します。

地震による強い揺れや長時間ゆっくりした揺れを感じたり、津波警報等の情報を得たときは、ただちに海岸や河川から離れ、近くには絶対に近づかないようにしましょう。

一般に「遡上高」は「津波の高さ」の約2倍～4倍程度高くなることが過去の調査から分かっています。津波警報や津波注意報が発表された時は、「津波の高さ」だけでなく「遡上高」も考慮して、より高い場所への避難が最も重要です。

#### 津波発生時の垂直避難・水平避難



香川県[南海トラフ地震（最大クラス）に関するDVD] より

香東川の河畔公園や運動広場等にいる場合は迅速な避難を心がけてください。

また、郷東の堰や飯田の沈下橋、市営檀紙団地の南から香川高専に向かう潜水橋は通行しないようにならざるを得ません。



### 【香川県の津波による被害想定（南海トラフ最大クラスの地震）】

	建物被害 全壊（冬18時）	人的被害 死者数 (冬深夜)	人的被害 負傷者数 (冬深夜)
香川県	2,000棟	4,600人	3,100人
高松市	380棟	940人	400人

### 【地震発生後すぐに避難した場合の死者数の軽減】

香川県では、南海トラフ最大クラスの地震の場合、香川県の津波による被害想定では冬の深夜では人的被害として、4,600人の死者数となっていますが、地震発生後直ちに避難することによって200人に軽減され、約1/23となると想定されています。

